

連携先	SAP / SAP HANA	利用シーン	データ連携 / データ抽出	業種	製造業
-----	----------------	-------	---------------	----	-----



## SAP新基幹システムと 業界特有の業務フローを機能マッチング SAP HANAとの連携も視野に

ナブコドア株式会社  
 大阪市西区西本町1-12-22  
 URL <http://www.nabco-door.co.jp/>  
 従業員数 393名 (2017年4月1日現在)

### 導入背景

「NABCO」プラントで自動ドアの販売、施工およびアフターサービスを手がけるナブコドア株式会社。同社は、所属するナブテスコグループ他社との業務標準化を目的として基幹システムをSAPベースに刷新した。しかし同社が主に携わる国内建築業界のビジネスは、実行予算管理や原価管理など業界特有の商慣習があり、ヘストプラクティスとされるSAPの業務フローをそのまま当てはめられないケースも多く課題となっていた。また社内DBからのデータの抽出、活用についても課題を抱えていた。

### 課題

- 業界特有の商慣習が多い中、ヘストプラクティスとされるSAPの業務フローをそのまま当てはめられないケースも多く業界特有の業務フローと新基幹システムの機能のマッチングが課題に。
- 顧客データや売上データなどの抽出要望があると都度抽出プログラムを書いていたため、そのプログラムを扱える担当者が限られるほか、効率性も課題に。

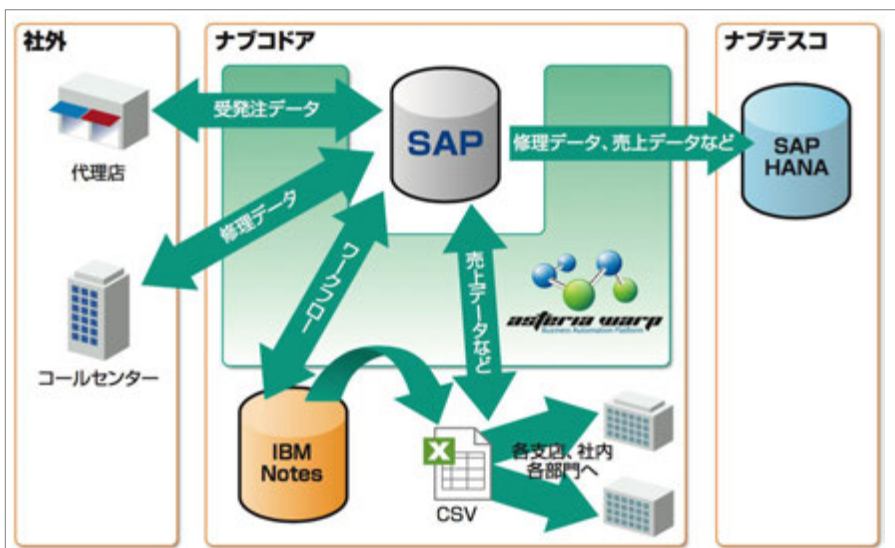
### 導入

- フロントエンドのワークフロー、ウェブ発注、コールセンターなどのサブシステムをASTERIA Warpを介してSAPと連携し、現場業務の利便性を確保。
- データ抽出については必要なデータをCSV形式で出力できるフローを適宜ASTERIA Warp上に構築して運用。

### 効果

- ASTERIA Warpを介し疎結合の状態にしたことで、連携先の追加・変更時も、システムを改修することなく迅速に対応可能に。
- 月間約20件のデータ抽出依頼に対応。現場は欲しい時に欲しいデータを必要な形式で入手できるようになり、営業戦略立案などに役立てている。

### システム構成図



### ASTERIA Warp選定理由

- フローデザイナーなどを実際に使ってみる中で、その簡単さ・分かりやすさを実感し、これならより簡単にシステム間連携が実現できると判断。
- 要求に応じたデータをシステムから抽出するツールとして、ヒツグデータ活用にも応用できる。

### 今後の予定

- ナブテスコが所有する超高速データベース「SAP HANA」や、製品を共同開発する協会のシステムとの連携により、修理データを新製品開発に生かすことも視野に入れている。

### お客様から一言

ASTERIA WarpのココがGood!



管理本部  
 情報システム部長  
 井上 浩三 様

例えば「この地域の昨年同時期の売上が知りたい」といったリクエストに対しても、ASTERIA Warpなら視覚的に分かりやすい操作ですぐにデータを取り出せる。この使い勝手は非常に重宝しています。

システムの柔軟な連携を支えるツール、そして当社が持つデータを最大限に生かすためのツールとして、ASTERIA Warpには引き続き期待しています。